

三種町の男性、自費で教室 **中3生、洋食マナー学ぶ**



三種町の中学3年生を対象としたテーブルマナー教室が、大湯村のホテルサンルーラル大湯で開かれた。三種町山の会会長で、琴丘中出身の近藤久規さん(77)＝同町鹿渡＝が自費で2015年度から開催し、今回で9回目。

3中学校の生徒85人が食事作法を学びながら、洋食のコース料理を堪能した。

2日に開催。ホテルのスタッフが講師役を務め、ナイフやフォークは外側から使うことやナプキンの使い方、食べる速さを周囲に合わせるといったテーブルマナーを指導。サーモンのグリルやローストビーフなど6品が提供された。

最初は互いに相談し合って手を動かし始めた生徒だったが、次第にマナーに慣れ、会話を楽しみながら料理を味わっていた。琴丘中の大山瑛志さんは「料理ごとにナイフやフォークを使い分けるのが勉強になった。今後使う機会があれば生かしたい」と話した。

近藤さんは東京の大手総合化学メーカーを退職し、55歳で帰郷。ボランティアで琴丘地域の小学生にキバナコスモスの植栽体験をしてもらったり、房住山の登山ガイドを務めたりするなど、さまざまな形で地域に貢献してきた。

教室は自身が1970年の大阪万博でフランス館のレストランに入り、マナーを知らずに上手に食べられなかった経験から始めた。将来役に立ち知識を子どもたちに身に付けてもらおうと、卒業祝いも兼ねて実施している。

琴丘、八竜、山本の3中学校は今年4月に「三種中学校」に統合する。近藤さんは「子どもたちの笑顔を見られて幸せ。経験したことは価値になる。元気なうちは教室を続けていきたい」と語った。(藤岡真希)



自費で教室を開催している近藤さん